

4 - 1 伊豆半島およびその周辺の地震活動(1988年11月～1989年5月)

Seismic Activity in and around the Izu Peninsula (November, 1988 - May, 1989)

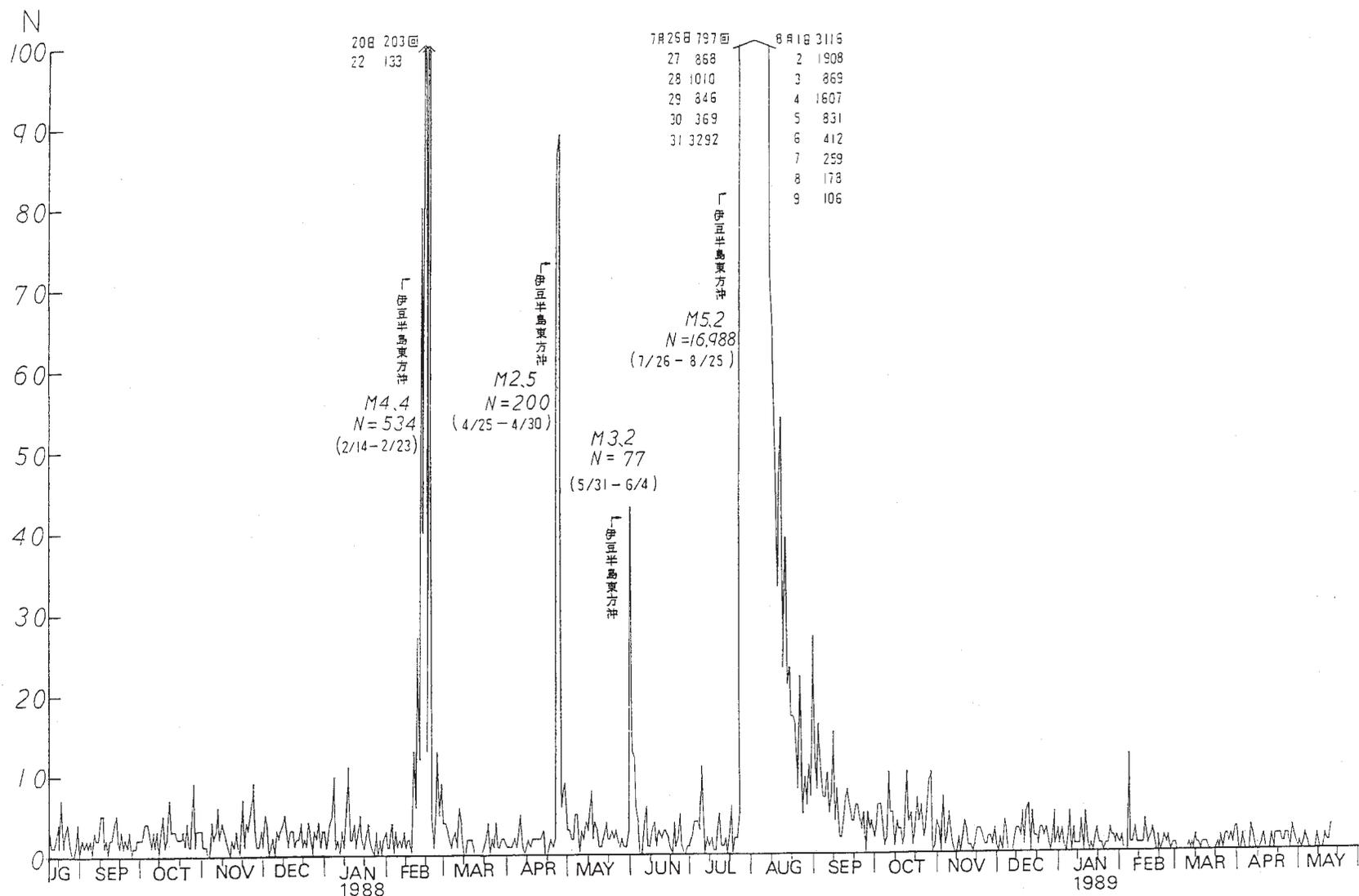
気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

この期間、伊豆半島周辺では、地震活動が特別活発化するようなことはなく、総じて静かな状態が続いた。第1図は最近の伊東市鎌田におけるS - P6秒以下の日別地震回数を示したものである(5月16日まで記入)。2月上旬に若干の地震回数増加がみられるが、これは伊豆半島東方沖に5日02時～09時にかけて発生した地震(12回のうち11回)によるもので、最大地震はM3.7(最大震度2:大島)であった。

注:5月21日06時ころから、伊豆半島東方沖(川奈崎付近)で群発地震活動がはじまった。
また、ほぼ同じころ東伊豆の歪計記録も縮み変化を示し始めた。これについては次巻に掲載予定。

鎌田（伊東市）における日別地震回数（ $S-P \leq 6.0 \text{ sec}$ ）



第1図 伊東市鎌田における日別地震回数（ $S - P \leq 6.0 \text{ 秒}$ ）

Fig 1 Daily number of earthquakes observed at Kamata. ($S - P \leq 6.0 \text{ sec}$).